

News Release



2019年10月28日
株式会社フォレストシー

愛媛県 久万高原町(くまこうげんちょう)に里山通信の導入が決定

双方向 IoT 通信網を確立し、携帯電話圏外でも林業作業者の安全確保、業務の効率化を実現

株式会社フォレストシー（代表取締役 時田 義明）の IoT 通信ネットワーク「里山通信」が、愛媛県久万高原町の林業向け ICT 業務のパートナーとして選定されました。

これは令和元年 10 月 1 日から 9 日まで公募された、久万高原町の「ICT を活用した林業の安全性・生産性向上と森林管理の効率化システム構築業務」のプロポーザル募集に対するものです。

本募集の仕様は、携帯電話の通信エリア外で作業をしなければならない林業作業者の安全を確保し、奥山においても緊急連絡や救助要請が即座に発信できることに加え、双方向通信により、生産情報等を需給者間でリアルタイムに共有し、林業の生産性の向上を目指すものです。

「里山通信」は、携帯電話に頼らない、奥山でも繋がる遠距離無線システムで、携帯電話等の通信圏外を含め、産地森林を多く抱える久万高原町内全域での林業 ICT システムの、低コストな運用が可能となります。

1. 他に類を見ない遠距離通信が可能な LPWA 無線規格「GEO-WAVE」。920MHz/250mW という独自仕様で、最大 200km の通信が可能。2. 中継機のリルート機能およびメッシュネットワークにより、従来はカバーできなかった山奥の携帯圏外でも通信が可能。3. 既に鳥獣被害対策機器「オリワナシステム」で、全国 60 地域以上での険しい地形への導入実績。4. ソーラーパネルによる中継機の長期運用が可能で、設置も容易。5. 通信費用が無料であり、クラウドサーバー利用料は月額 300 円/台、電波利用料も月額 450 円/台と低コスト。など、数々の特長を持っています。

久万高原町では、里山通信ネットワークで四国有数の面積を誇る町内全域をカバーする予定で、10 月 21 日より通信テストを開始いたしました。この「里山通信インフラ」が構築されれば、林業だけでなく、防災や農業の IoT 化、限界集落の安否確認・見守りなどにも活用が可能となります。

■里山通信について

里山通信は IoT で人と自然との課題を解決していく事業ブランドです。独自の無線規格「GEO-WAVE」を用い、これまで通信が困難だった里山・中山間地をはじめ、日本のあらゆる場所を IoT 圏内にする通信機器とサービスを企画・開発から行い、トータルで提供いたします。

■里山通信 ウェブサイト

<https://satoyama-connect.jp/>

■本件に対するお問い合わせ先

株式会社フォレストシー

〒135-0022 東京都江東区三好 3-7-11 清澄白河フォレストビル TEL：03-5245-1511

お問い合わせフォーム：<https://satoyama-connect.jp/contact/>

※里山通信の機器販売は、今のところ官公庁・自治体・企業・組織向けなど業務用に限定しております。個人向け販売のお問い合わせはご遠慮ください。

※里山通信、GEO-WAVE、GeoChat は、株式会社フォレストシーの登録商標です。

※記載情報は、発表日現在のものです

以上。